

沢代遺跡 (阿保)

沢代遺跡は、木津川上流部の阿保小盆地北西に所在する遺跡で、南方には、阿保地域で最古・最大規模の古墳である西法花寺古墳(息速別命墓)があります。



▲遺跡周辺位置図 (1:25000)

この遺跡は、平成5・16年度に発掘調査が実施され、古墳時代から中世にいたる遺構や遺物が確認されています。中でも、古墳時代の遺構や遺物が多く、4・5世紀代にこの地が特に栄えていた様子がうかがえます。古墳時代の遺構には、堅穴住居跡や溝などがあります。溝は底に石貼りをしたものや、河岸に湧水点を有するものがあり、発掘調査中にも水が湧いていました。



▲城之越遺跡学習館での沢代遺跡出土遺物の展示

ところで、本遺跡の北西約1kmのところには国名勝および史跡に指定されている城之越遺跡が所在しますが、そこでも石貼りの溝や湧水点が見つかっています。城之越遺跡の大溝では、水にかかわる祭祀が行われていたことがはっきりとしています。沢代遺跡では、城之越遺跡のように木製品など直接祭祀をうかがわせるような遺物は少ないですが、調査の結果6世紀の始めごろまで溝を大事に手入れしていたことがわかりました。出土遺物には、土師器の甕や高杯、小型壺などが多く見られますが、その一部は現在、比土の城之越遺跡学習館(入館料200円)で実施中のミニ企画展(平成19年3月30日まで)でご覧いただけます。



発行日 平成19年1月5日
 発行 伊賀市
 〒518-8501
 三重県伊賀市上野丸之内116番地
 編集 企画振興部広聴広報課
 ☎ 0595-22-9636
 FAX 0595-22-9617
 伊賀市ホームページ：
<http://www.city.iga.lg.jp/>

ひとが輝く 地域が輝く
 ~住み良さが実感できる自立と共生のまち~
 伊賀市 IGA CITY



親子で手作りの凧を上げてみよう

11月26日、青山グラウンドで『親子で手作りの凧を上げてみよう』が行われ、小学生とその保護者24人が参加しました。



“夢と技の伝承”カーペンターの皆さんから「おしき凧」と「タコの凧」の作り方や凧を高くあげるコツを教わりました。この日指導した田鍋さんは「籾と和紙で作った凧は、バランスをとるのが一番難しい。今日は皆さんよく作れていて、よく飛びましたね」と笑顔で話してくれました。

参加した子どもは「難しかったけど楽しかった」と満足したようでした。また、たみ6畳分の大凧をみんなであげ、豚汁のふるまいなどもあり、冬の風物詩の一つである凧あげを楽しみました。(今月の表紙)